会員向け出品マニュアル

低額車販売に対する心構え

さっそくあなたの在庫を登録して頂きたいのですが、いくつか心構えのポイントを書いていきます。

当サイトを利用することで、あなたは約7000社の海外のバイヤーをはじめ、数百社の国内バイヤー(輸出業者や解体業者さん)にオファーすることができます。オファーというのは、英語で提供、提案、という意味で「○○○という車があるんですが、興味ありませんか?」という意味です。今後しょちゅう出てくる言葉なので、覚えておいて下さい。

もちろん実際の商談や手続きは、私たち事務局が行いますので、あなたがバイヤーさんと直接やり取りすることはありません。しかし、車の内容、状態、そして、価格に関しては、あなたの在庫がそのままバイヤーさんの目に触れることになります。したがって、あなたの車が売れるか、どうか、ということは、あなたのオファー次第、ということです。

どのようなオファー、つまり車の種類、価格帯が人気があるか、ということは、そのとき、そのときの情勢、為替や海外状況などによって、本当にコロコロ変わります。輸出業者さんたちですら全世界でのトレンドはつかみづらいため、やりながら反応をみるしかないでしょう。(なお輸出情報をタイムリーに入手したい方は輸出いちば入会ください。)

まずここでは、基本的な考え→ 多くの業者さまが誤解している点 を書いていきます。

「安い車であれ、バイヤーは、状態、そして装備にうるさい。」

ボロい車でも買うバイヤーもいます。しかし、あなたがこれから本気で売上を拡大するつもりであれば、 シビアになった方が良いです。ここでいう状態とは、次の点です。

一外装・・・目立つ、キズ、凹みはないか?

一内装・・・タバコの焦げはある?

一修復・・・あるか、ないか? 大きな事故車はいやがります。

ーサビ・・・ボディ表面というはり、下回りのサビは?

そして装備とは・・・・アルミある?背面タイヤある?スポイラーある?

などなどです。こう書くと、「けっこう細かいなー」と思われる方もいると思います。

キレイな車でないと買わない、装備が良くないと買わないという訳ではないのです。汚い車でも、グレードの低い車でも、買う人もいます。しかし、大事なことは、状態が悪いものは悪い、装備がないものはない、と事前に知っておく必要がある、ということなのです。この点は、とても大事なので頭に入れておいて下さい。

相手はあくまでも商売で車を購入(仕入れ)するのです。「良いと思って悪い車を買わされた」あるいは「思っていた装備がない車だった」などあると、2度と買わなくなってしまいます。逆に、最初から「これは悪いよ」ということが分かっていれば、それはそれで良いのです。「そういう車は買わない」というバイヤーも多いですが、「それでも安かったら買いますよ」というバイヤーも多いからです。

次に、いよいよあなたの在庫前のステップとして、車を見るときのポイントを細かくご説明します。あなたが出品する場合の目安としてお考え下さい。

何を見るのか?「外装」

「まずはパッと見が大事」

まずは、外装のぱっと見の印象をおぼえておいて下さい。評価点としては、3点、3.5点、4点 を基本とします。(修復車に関しては、後述)

かなり、おおざっぱですが、

4点・・・ぱっと見まぁキレイ

3.5点・・・ちょっと外装ある感じ

3点・・・・けっこう外装ある、ボロい印象

という感じで良いです。イメージ的には、業者オークション評価を基準に考えて下さい。USSほど甘くなく、トヨタほどキビシくなく、といったところです。

具体的にいうと、キズやヘコミがどれくらいあるのか?の数(パネル数)が大事です。

4点・・・ぱっと見まぁキレイ

ほんらいは、4点=バンパーコーナーに小キズくらい。それ以外は目立つ加修(ヘコミ、キズ)がない。 というのが基本です。ただ、さいきんのオークションの傾向、というか、昨今の車の状態の傾向としては昔 と比べると、多少のキズ、ヘコミはあって当たり前という感もあります。そこで、1パネ(パネル)くらい のキズ、ヘコミはOKとします。(エクボは数えない)

例) フロントバンパーコーナー (右) キズ + 右フロントドア小へコミなど

3.5点・・・ちょっと外装ある感じ

具体的には目立つパネルだけで2枚~3枚ある、というイメージ

3点・・・けっこう外装ある、ボロい印象

3.5点よりも悪いというイメージ。

何を見るのか?「機関、内装、手帳」

以下、細かくなりますが、すべて大事できちんとした査定の場合はすべての行程を行います。流れが分かれば機械的にできる作業です。

エンジン、ミッション、エアコン

- ーエンジン音に異音がないか?
- ークラッチ滑り(マニュアル車)?オートマのショックは?
- ーエアコンがあるか?ワゴン車などはWエアコンか?エアコンはきくか?きかない場合はコンプレッサがま わっているか?

ABS、エアバッグ

-ABSはあるか?

- ーエアバッグはある? (シングル、ダブル)?
- ーABS、エアバッグは、イグニッション回して、一回表示がついて、エンジンをかけるときえるか?
- ーその他警告灯など点灯がないか?

このまま、運転席に座ったままのチェック

(運転席に座ってのチェック)

- 一飛び石がないか?
- ーダッシュボードにダメージ(のりあと、ねじ穴、など)ないか?
- ーオドメーター周りに不審な点はないか? (はずした形跡、ハリ(アナログの場合)のズレ)
- 一内装(運転席座る前チェック)、焦げ、目立つ汚れ、天ばりも忘れず
- -内装の素材は、布シート、レザー?色は?
- ーヘッドレスト欠品はないか?
- ーパワーウインドウ等電気系の不良はないか?
- ーステレオは何がある?(ラジオ?カセット?CD?MD?ナビTV→純正か?インダッシュ?など)
- 一この時点で、装備品のチェックをする。
- エアコン、パワステ(この2点は大多数あるが、軽トラ、古いトラック等ないものもあるので、確認すること)
- ーサンルーフ、Wサンルーフ?→必ず始動確認、そして、サビチェック
- ーその他、高級車の場合、パワーシート(運転席のみ?)、クルーズコントロール、など

このまま、助手席のグラブボックスから整備手帳、車検証など 手元にある場合は、別の行程でよい

■まず整備手帳

- 一表紙の保証?
- ーメーター交換歴がないか?
- 整備の記録簿はあるか?時系列で不審な点はないか?
- 一取扱説明書はあるか?※輸出は関係ない

■車検証を見て記入

(以下、査定票の順序)

- 一初年度の年式、月(登録月も大事) 平成11年4月
- 一排気量 1500cc
- ー型式(一ハイフン前も忘れず GF-AE110 例)AE110 だけ ▷ダメ、GF-AE110 ▷OK
- 一車種 カローラ
- ーグレード SE サルーンLTD (分からない場合は、類別区分、型式指定を、別記した方がベター)
- 一車検残 平成20年4月
- 一走行 85,251km
- 一定員 5人

(見て分かるところ)

- ーミッション ATか、マニュアルか?マニュアルは5速、6速、4速?
- ードア数 4ドアセダン=4SD

5ドアハッチ=5HB

5ドアワゴン=5S/W

- ー燃料 ガソリン、ディーゼルか?
- 一色 白、パール?
- 一整備手帳の有無 ある、ない? 保証書もあるか?
- ー内装色 ベージュか?グレー

- ★この時点で車体番号を記入
- ★この時点で、リサイクル券(金額)も忘れずに記入
- ★外車の場合は、右ハンドル、左ハンドル
- ★外車の場合は、正規ディーラー(保証、整備手帳ありか)か並行?

何を見るのか? 「サビ、修復」

あまり見る人は少ないと思いますが、下回りのサビは必ず見るようにしましょう。輸出の場合は検査がありサビで引っかかる場合がけっこうあります。例えば、ニュージーランド向けであれば、日本よりはるかに キビシい基準です。

屈んでみて良るのですが、ミラー(100円ショップで売っている大きな四角いもの)を使うと見やすいです。サビの基準に関しての、詳しくは、パーツ図解の最後の方のページを見てください。

修復に関しても、輸出向けでもOKの場合と、ダメなところに分かれます。あとは程度によっても分かれます。「軽い修復」であればOKだけど、大きな事故(フレーム修正など)は敬遠する、というパターンが多いです。ただこれも国やバイヤーによって異なります。「事故車は絶対ダメ」というバイヤーもいますし、事故車大丈夫!というバイヤーもいます。ここでも大事な点は、「事故車かどうか?」もしくは「事故車かどうか分からない」という点が事前に分かっていることです。

当サイトでの売買ルールとしては、見れる人、かつ、自信がある場合は「修復の有無」を確認して下さい。見れない人、自信がない場合は、「修復歴は不明」という扱いでお願いします。

「修復なし」の車が売買後に、修復あり、と判明した場合はクレーム対象になるので、気をつけて下さい。 「不明」の場合は、クレーム対象にはなりません。なお、事故車でない、ことが分かっている場合は、販売 先の候補は広がりますので、売りやすくなります。

何を見るのか? 「その他」

- ーアルミは?純正か?社外品か?社外の場合インチ数も記入がベター(アルミだけの写真も良し)
- ースポイラー(フロント、サイド、リア)純正か?社外か?
- 一四駆の場合は、フォグライト、グリルバー(英語でブルバー)、背面タイヤ

査定表の記入方法

※以下は、海外向けも考える場合です。

規定のアルファベット(英語)を使用することが基本です。この統一の査定票は、直接海外バイヤー向け に利用される前提です。大きなキズ、ヘコミは大きく、小さなキズヘコミは小さく書きます。あと、パネル に股がっている場合も正確に記入します。

キズ = S (Scratchより)が基本。

PD = TOT

D+S =キズを伴うヘコミ

D = (キズを伴わない) ヘコミ

SHD=(キズを伴わない)うすへコミ (Shallow Dent)

S = (爪がひっかかる) キズ

※素人のタッチペンがあっても、S扱いでお願いします。

SHS=(爪が掛からない程度の)うすキズ (Shallow Scratch)

C =ヒビ(ガラス、ランプ系で使います、大きさも記入する)

例) C (10cm)

SC =小さいヒビ (SmallCrack)

XX =ドア等、交換済みのパネルに対して、ペケペケ

その他

BP =素人の塗装などで、明らかに塗装が悪く、塗りなおしが必要なもの。ペイントハゲも含む。

X =要修理

W =プロによる塗装跡 →普通に見てキレイに見えるもの(塗装面の波=WAVE)

RUST=サビ

PAINT FADE =色あせ(赤の車などで目立つもの)

PU ⇒ = バンパー押されなど、⇒と共に使う。(Push)次GAPと併用できる。

GAP = バンパー押されなどでバンパー外れ気味の場合。

色に関して

白 =WHT (WHITE)

パールホワイト=PEARL WHT (P/WHTでも可)

赤 =RED

ワインレッド=W/RED (Wine RED)

青 = B L U (B L U E)

紺 = D/BLU (Dark Blue)

水色=L/BLU (Light Blue)

シルバー=SLV

グレー=GREY

濃いグレー= D/GREY

緑 = GREEN

うす緑=L/GREEN

オレンジ=ORANGE

黄色 = YELLOW

ツートンカラー=

上が白 WHT

下がシルバー SLV

その他の注意事項

- 一書類がある車、動く車が原則です。
- ー売買後1週間以内に書類が届かない場合はペナルティとなります。

最初の1週間を超える7日間1万円、以降7日ごとに1万円

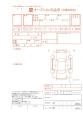
ーメーター交換、改ざん車の事前申告がない場合は、クレーム対象です。

じっさいの販売までの流れ

①在庫のチェック、写真撮影







写真に関して

写真の数は多ければ多いほどいいわけですが、最低でも

- ①右斜め前方から1枚
- ②左斜め後方から1枚
- ③室内1枚
- は必須です。

ただ多ければ多いほどいいです。上の①②③以外でいうと、

- 一左斜め前方から
- 一右斜め後方から
- 一後部座席より、前席室内 (ステレオなどが分かるように)
- 一後部座席の写真
- ーバン、ハッチバックなどはバックドアを開けて後方正面から
- ーエンジンルームの写真
- ータイヤ(アルミなど分かるように)正面

など

あとは、気になるところ(凹みの大きいところなど)最大10枚までアップできます。写真の数は多ければ 多いほど販売チャンスが広がります。

②WEBへの登録はカンタン!





③あっという間に掲載 (国内、海外へも掲載)



詳しくは別途のサイト利用マニュアルをご覧下さい。



平成26年1月現在、191カ国7429社の海外プロディーラーが登録済



④引き合いが事務局へ→即対応





成約!



⑤書類の発想、引き取り → お支払









